

ふれあい

No.10

■発行日/令和2年4月10日
■発行/大分県議会自由民主党
■連絡先/大分県議会 〒870-0022
大分市大手町 TEL 097-506-5060(代)



令和2年度、自由民主党会派22名の議員は「県民目線」で課題解決に努めてまいります。(本会議場傍聴席にて)

— 大分県議会議員 自由民主党

県民目線

土居 昌弘

選出地域：竹田市



行政による生活世界の植民地化だと、現代社会に警鐘を鳴らしたのはドイツの政治哲学者ユルゲン・ハーバマスです。近代合理主義によって築かれた現代社会においては、公共政策はもっぱら政府や自治体が一方的な担い手になってしまいう傾向があるということです。

しかしながら、大分県民の代表として選ばれた知事ならびに県議会議員は、本県の公共社会が「行政による植民地化」にならないように努めています。知事はじめ執行部は、施策の策定過程に様々な県民の声を反映させています。一方の県議会も、その審査や議決の判断、さらには議員提案条例策定においても、県民と意見を交わし、議会の判断の参考にしながら議会活動に動んでいます。もちろん、県議会のなかでも最大会派である自由民主党の我々は、その意識を一番強く持たなければならぬのは当然のこと。

今回、県議会自由民主党の議員全員で、議場の傍聴席に座りました。我々の議会活動の起点は県民サイ

ド、そう、県民の暮らしのなかにあります。県民と我々、県議会自由民主党の議員との協働によって、我々の活動の質は高められていきます。ハーバマスが危惧したように、自治とはあつて自分が受けるものではありません。自分たちでつくっていくもの。この度、議場の傍聴席に立ち、改めてここを大事にする決意した次第です。

令和2年度が始まり、美しい新緑の気配がしています。令和2年を迎え、新型コロナウイルスの感染拡大により、我が国は混乱をきたしました。本県でもクラスターが発生。学校の休校、イベント等の延期・中止、産業の足止め、中小企業の資金繰り悪化等、県民の営みに多大な影響を与えました。しかし、ここから大切。明らかになった多くの課題を深く省みて、ともに乗り越えていきましょう。我々、県議会自由民主党も力を合わせるとともに、「県民目線」に心を合わせて議会活動に邁進していきます。爽やかな薫風を心待ちにして。